

2024年2月20日

報道関係者各位

慶應義塾

**慶應義塾一貫教育校 BLS 委員会・慶應義塾大学スポーツ医学研究センター  
シンポジウム『BLS (Basic Life Support) 教育の実践と社会的意義』を開催**

慶應義塾一貫教育校 BLS 委員会と慶應義塾大学スポーツ医学研究センターは、教育現場における BLS 教育の幅広い浸透を目指して、シンポジウムを開催します。

慶應義塾の一貫教育校（注1）で、BLS(Basic Life Support)（注2）の体系的な教育を2002年に開始し、20余年が経ちました。小学校から高等学校段階まで各段階での心肺蘇生法、AEDの操作方法等の実習はいずれも先駆的な取り組みでしたが、今日では、日本の多くの学校で取り組まれています。また、AEDの市民使用が認められて今年で20年になります。

本シンポジウムは、救急医療、スポーツ医学の専門家と BLS 教育に実際に携わってきた教員・卒業生のパネルディスカッションなど、BLS 教育の実践や社会的意義について知見を得られる貴重な機会となっており、多くの教育・スポーツ関係者のご参集を期待いたします。ぜひイベント欄での告知およびご取材くださいますようお願い申し上げます。

**1 開催日時・場所**

日時 3月2日(土) 14時30分～17時

場所 慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1階519教室

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>**2 イベントサイト**

シンポジウム『BLS (Basic Life Support) 教育の実践と社会的意義』開催のお知らせ

<http://sports.hc.keio.ac.jp/ja/news/2024/02/blsbls-basic-life-supportblsbasic-life-support200220aedaed20bls32-143017-519-tel03-5427-1711fax03-54.html>**3 参加対象者・参加費**

どなたでも参加可能、無料

**4 プログラム**

- ① 挨拶ー慶應義塾における BLS 教育のはじまりとその後の展開ー  
山内慶太（慶應義塾常任理事）
- ② 慶應義塾一貫教育における BLS 教育の実践  
小山亜希子（慶應義塾女子高等学校教諭）
- ③ ウツタイン統計(消防庁院外心停止データ)分析から見た、BLS 教育の社会的意義  
～慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科での研究から～
  - 院外心停止例の類型化（市中で倒れた人は助けられているか?）  
湯澤あや（デロイトトーマツリスクアドバイザー合同会社ヘルスマネジャー）
  - 院外心停止例の目撃者による蘇生率の違い（家族は助けられているか?）  
白川和宏（神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）
- ④ スポーツ活動中の突然死をどう防ぐか  
石田浩之（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター教授・大学院健康マネジメント研究科委員長）

- ⑤ パネルディスカッション  
佐々木淳一（慶應義塾大学医学部救急医学教授）  
石田浩之（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター教授）  
BLS教育の担当教員・BLS教育を受けた卒業生
- ⑥ BLS教育への更なる期待  
三田村秀雄（日本AED財団理事長）

## 5 主催

慶應義塾一貫教育校 BLS 委員会、慶應義塾大学スポーツ医学研究センター

### 【用語解説】

- (注1) 一貫教育校：慶應義塾の小学校、中学校、高等学校の総称です。各校とも慶應義塾の基本理念に基づき、独自の方針・校風を持つことで、多様多彩な人材を育成しています。  
<https://www.keio.ac.jp/ja/academics/affiliated-schools/>
- (注2) BLS(Basic Life Support)：心肺停止または呼吸停止に対する救命措置。専門的な器具や薬品などを使う必要がなく、正しい知識と適切な処置方法を知っていれば、医療従事者以外の一般市民も行うことができます。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社社会部、科学部等に送信しております。

- 
- ・シンポジウムの内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾一貫教育支援センター

TEL：03-5427-1711 FAX：03-5427-1748 E-mail：[ikkan-center@adst.keio.ac.jp](mailto:ikkan-center@adst.keio.ac.jp)

- ・本リリースの配信元

慶應義塾広報室（担当：若原）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

E-mail：[m-pr@adst.keio.ac.jp](mailto:m-pr@adst.keio.ac.jp) <https://www.keio.ac.jp/>